

2018年度 塾長賞・塾長奨励賞

塾長賞・塾長奨励賞は、学術・芸術・社会活動・文化活動などの各分野において、学生の範となる活躍をした塾生を表彰するものです。2018年度は、塾長奨励賞に2件2名が選ばれ、3月の学部卒業式において表彰されました。

塾長賞・塾長奨励賞について

塾長賞審査委員会委員長 学生総合センター長・理工学部教授 千田憲孝ちだのりたか

塾長賞・塾長奨励賞は、学術・芸術・社会活動・文化活動など、正課以外の幅広い分野において、めざましい業績を挙げた塾生を表彰するものです。基準は端的に言えば、その業績が「慶應義塾の存在自体の光輝となるもの」かどうかという点につきます。

2018年度は4件の推薦が得られ、慎重な選考の結果、2件2名が塾長奨励賞の栄誉に輝きました。布施君（文学部3年）は「平成29・30年度国立劇場『歌舞伎脚本募集』」において、執筆応募した作品『三世義王』が奨励賞として選ばれました。歌舞伎界も世代交代が進む中、若い世代である布施君が、古典である「平家物語」を題材にして執筆した脚本が、歌舞伎の専門家より高い評価を得たことは素晴らしい業績です。近い将来、布施君作の演目が歌舞伎座で上演されることが期待されます。田畑君（総合政策学部

3年）は「第35回NHK全国大学放送コンテスト」アナウンス部門において優勝しました。このコンテストには全国の大学から181名がアナウンス部門にエントリーしましたが、その中から田畑君の美しく正確な発音による「伝える力」が高く評価され、アナウンス部門の最高位に選ばれたことは秀逸な業績です。布施君、田畑君が、芸術・文化活動でそれぞれ卓越した業績を挙げ、権威ある賞を得たことは、慶應義塾の誇りとするところです。二人がこれまでの日々の努力によって培った能力をさらに伸ばし、今後ますます活躍することを期待します。

塾生諸君には、大学生活、またその後の人生をより豊かなものとするべく、今回の受賞者である布施君、田畑君に続いて、学業以外の分野においても自己を磨き、さまざまな領域で「光輝」を放つ存在となることを期待しています。

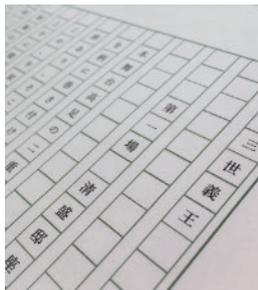


塾長賞 該当なし

塾長奨励賞

「平成29・30年度国立劇場『歌舞伎脚本募集』」奨励賞 受賞

文学部3年
布施静乃君

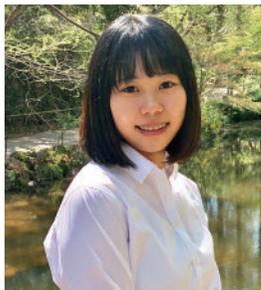


国立劇場「歌舞伎脚本募集」はアマチュア、プロの劇作家を問わず、広く一般に対し募集されるものです。幅広い年齢層の応募があった中、布施君の歌舞伎に対する意欲と作品の獨創性が選考委員に評価されました。学業と両立し、成しえた業績は同君のたゆまぬ研鑽の賜物であり、その活躍は慶應義塾の誇りとするところです。

「このような素晴らしい賞をいただき、大変光栄に存じます。推薦して下さった斎藤太郎教授に、感謝申し上げます。日本の伝統芸能である歌舞伎に魅せられて書いた脚本が、今回の受賞につながったことを、幸せに感じております。これからも誇りをもって、執筆活動に精進してまいります」

「第35回NHK全国大学放送コンテスト」アナウンス部門 優勝

総合政策学部3年
田畑佳穂君



「第35回NHK全国大学放送コンテスト」は全国の大学・短期大学生の日頃の成果を発表するために企画されたコンテストです。多くの参加者があつた中、アナウンス部門で田畑君が見事に優勝しました。学業と両立し、成しえた業績は同君のたゆまぬ研鑽の賜物であり、その活躍は慶應義塾の誇りとするところです。

「このような荣誉ある賞をいただき、大変光栄に存じます。応援いただいた皆さまに深く感謝いたします。今はアナウンス活動での経験を活かして、さまざまな分野に挑戦していきたいと思っております」

